



北村 あや子 区政ニュース

特別養護老人ホーム「信愛のぞみの郷」など 信愛報恩会が荒川部門の事業を譲渡へ

信愛のぞみの郷、通所介護、居宅介護支援を運営している社会福祉法人信愛報恩会(本部:東京都清瀬市梅園 2-3-15)が、今年9月1日に荒川部門の事業を譲渡する予定であることが分かりました。人手不足で運営が厳しかったのではないかと区の担当課長は話していました。譲渡先は江東区内で複数の特別養護老人ホームや病院などを経営する社会福祉法人あそか会(江東区住吉 1-18-15)です。

特養などは民設民営の事業ですが、利用者さんが引き続き同様のサービス

を受けられるようにすることを、区も求めています。また、あそか会は事業譲渡にあたり、信愛報恩会の職員を受け入れる方針とのことです。

特別養護老人ホームは1994年から運営、その前は約40年間保育園を運営していた「信愛」さん。キリスト教精神に基づいての運営で地域福祉を長年支えてくれた事業者さんが変わることはとても寂しく感じます。引き続き、地域の方々が安心して受けられる介護サービスの提供が求められます。

地域包括支援センターは

区が信愛報恩会に委託している西尾久・東尾久の地域包括支援センターについても、信愛報恩会は9月1日をもって委託契約を解除する意向です。継続性とあそか会の事業実績を考慮し、あそか会へ委託する予定となっています。



街の声

ご意見、ご要望をおよせください。



*尾久ふれあい館1階のだれでもトイレ(バリアフリートイレ)に鏡がなくて困る、との声を今年1月に車椅子利用者からいただきました。オストメイト対応トイレで、汚物洗浄台近くにはストーマ周辺の腹部を映すためのものと思われる小さな鏡がついていましたが、化粧鏡はありませんでした。区に鏡の設置を要望し、先日取り付けられました(左画像)。少し時間がかかりましたが、設置されてよかったです。

都営住宅 定期募集

申込書は区役所や区民事務所などで5月15日まで配布。締切は5月21日必着です。書き方など分からないことは、お気軽にお尋ねください。

～尾久地域の募集状況～

西尾久四丁目都住
1～2人用 1戸
西尾久八丁目都住
2人用 4戸
西尾久八丁目第二都住
4人以上 1戸





フリースクールの理解促進を求める陳情 自民・ゆいの会などが「趣旨採択」

今年3月に不登校の児童生徒が安心して学び、将来に対して夢が持てるよう「フリースクールについての陳情」が提出されました。

自民党は①学校復帰を前提とした従来の不登校対策の転換②学校外の施設や情報を提供③事業者への財政支援④区民向け講演会の実施の4点について、③以外はすでに区が実施している。今年から保護者に区として2万円の補助を始めたことが事業者支援にもなるとして趣旨採択を主張し、荒川区議会は賛成多数で「趣旨採択」となりました。

日本共産党は採択を主張

教育相談、適応指導教室、スクールソーシャルワーカーの配置など「不登校ゼロプロジェクト」としてすすめてきました。しかし荒川区の不登校児童生徒は年々増え続け、2022年度は360名を超えています。

陳情で「学校現場では、まだまだ学校復帰を前提とした対応が散見され、子どもたちや保護者にとって心の負担になっている」と指摘されています。

学校復帰を前提とした不登校対策から「誰一人取り残されない学びの保障」への転換は大前提です。荒川区は今年4月からのフリースクール通学への月2万円支援やフリースクール参加を学校出席扱いとしたこ

と、また教育センターの教室みらいの原則標準服着用の見直しは一歩前進です。

義務教育の場としてフリースクールを認める方向にすすめるわけですから、陳情者が求めている情報発信や事業者への財政支援、理解促進のための講演会の開催は当然のことで、積極的な取組むべきです

養護教諭の複数配置・親の会の活動支援・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの常勤化なども検討すべき課題です。

不登校の子どもたちの育ちと学びを支えるNPO法人「多様な学びプロジェクト」のアンケートで「学校が変わって欲しい」と4割近くの子どもたちが答えています。

学校に行きたくない。いけないという子どもたちの叫びをしっかりと受け止める必要があるのではないのでしょうか。すべての子どもたちにとって安心して休める学校に、子どもたちを緊張感から解放しましょう。

子どもの意見表明権を尊重する学校、テスト中心を改めて何故どうして、やってみたいを大事に、子どもを真ん中に豊かな学びを保障する学校づくりが必要であり、そのためには少人数学級と教員の増員が不可欠です。

あらかわ Rose Weeks 2024

都電沿いや宮前公園のバラがきれいに咲いていますね。荒川区では5月10日(金)から25日(土)までの期間を「あらかわ RoseWeeks2024」と称して、バラに関連するイベントを開催します。ぜひお楽しみください。

第14回あらかわバラの市 (ご注意ください！今年は町屋駅周辺で開催)

開催日: 令和6年5月18日(土曜)※荒天中止

開催時間: 午前9時30分から午後3時00分まで

開催場所: 町屋駅前周辺 内容: バラ花鉢販売、バラの育て方相談コーナー等

あらかわバラの市盛り上げ隊フェア

区内の商店等がバラに関連した期間限定の取組みを行います。限定商品の販売や割引など、特別サービスが盛り沢山です。尾久地域では梅の湯(西尾久4-13-2)5月25日バラ風呂を開催、山内商店(西尾久4-8-2)5月12日～5月27日バラチョコみるくあんみつの販売、洋菓子セキヤ(西尾久7-10-3)5月10日～5月25日ローズフィナンシェの販売、ハンバーグレストラン&ワインバルアッシュ(西尾久8-25-1)5月6日～5月31日まで牛肉100%白いハンバーグにバラの絵をパブリカで描いて提供。

宮前公園 春のローズフェスタ

5月10日(金)～5月25日(土)

5月12日15時から30分、尾久図書館スタッフによる青空の下でのおはなし会が開かれます。

絵本の読み聞かせや手遊びなど。他にも多様なプログラムがあります。



日時: 5月17日(金)18:30~20:00

会場: 北村あや子事務所(西尾久2-4-8)

TEL&FAX: 03-3894-6668 **要予約**

留守電にお名前と電話番号を録音して下さい

**法律
相談**
HOURITSU SODAN